

きゅうきたもりさけてん てんぼけんおもや
旧北森酒店 店舗兼主屋

種 別 国登録有形文化財 建造物
登録年月日 平成28年11月29日
所在地 粟津町

粟津温泉街に位置する木造商業建築。

施主は北森虎吉で、施工は地元大工によると伝えられるが、棟梁などは不明である。

北森酒店は、造り酒屋として旅館に地酒を納入し、温泉街の繁栄に寄与してきたが、平成12年に酒屋の暖簾を下ろした。その後、平成24年に社会福祉法人がこの建物を取得し、原形を活かした小規模多機能福祉施設へと改修して現在に至っている。改修にあたっては、軸部材をそのまま利用し、概ね内装材の改装にとどめている。

木造2階建てで、屋根は切妻造りのむくり屋根。棧瓦葺きとしている。棟端に鬼瓦を据え、正面の鬼瓦や杉玉は酒屋当時の面影を残す。側面両側には棧瓦葺きの下屋を設け、正面には板金葺きの化粧出庇がある。

また、建物内部の1階は、正面側の店構え・ヒロマと背面側の座敷部があり、ヒロマの重厚な雰囲気と座敷部の繊細さは対照的である。

当地方における近代和風建築の息吹を感じさせ、当時の商業建築の意匠力を現在に伝える貴重な建物である。



外観正面（東面）